

田島祇園祭大幅縮小 「神事」行われる

田島祇園祭は新型コロナウイルス感染症感染防止の為、大幅に縮小。神事のみを党本と役員のみで執り行いました。

大祓式



人型の人形(紙)を池へ流す

令和2年6月30日、田出宇賀神社、熊野神社社殿に於いて「大祓式」(おおばらえしき)が行われました。コロナ禍の為、大祓には本年当番党本高橋稔雄氏御党屋協議会及び産土奉賛会役員の猪股純一氏 細井信浩氏 猪股角平氏 神社総代会長室井強氏の5人が出席しました。社殿では社会的距離(ソーシャルディスタンス)をとりながら行われました。

出席者らは「疫病(えやみ)よりまもりませ」と疫病が鎮まる事を祈り拝みました。

宮司お祓いのあと、渡されたひとがたの人形に三度息を吹き込み、けがれを吹き込まれた人形を境内わきの池に流しました。

大祓式：田島祇園祭を取り仕切ってお党屋らが半年のけがれを祓う。1年の半分となる6月30日田出宇賀・熊野神社で行われる。関係者が祇園祭本番に向けて身と心を清める。

例大祭



7月22日、田島祇園祭例大祭が行われました。例大祭には、新型コロナウイルス感染症の影響で密を避ける為、党本と奉賛会役員、御党屋協議会、神社係者合わせて8人が出席しました。神社では田出宇賀神社宮司が、五穀豊穡や疫病の退散を祈りました。お祓いのあと、室井宮司が宮司舞を舞い、党本らは神殿に玉ぐしを捧げました。

田出宇賀神社党本の高橋稔雄さんは「にぎやかな祭にしたかったが仕方ない、コロナウイルスが1日も早く終息し平穏な生活に戻って欲しい」と話していました。熊野神社党本の猪股則次さんは「祭りが大幅に縮小されて戸惑った。来年は普通通りに祭りが出来るよう祈りました」と話していました。

熊野神社神事にも8人が出席。熊野神社社殿で渡部宮司が五穀豊穡や疫病退散を祈り、党本らが玉ぐしを捧げました。



宮司舞



熊野神社社殿でも神事を行った

しゃんぎり保存会 練習再開

田島祇園祭しゃんぎり保存会では、祭りでの演奏は中止となりましたが、伝統を引き継ぐため1か月に2回ずつ練習を行っています。

練習は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止していましたが、6月中旬から3か月ぶりに練習を開始しました。しゃんぎり保存会は全部で20人ほどの会員がいます。今回小学1年生2人を含む新人が4人参加。会員は「新人が入る事で伝統を引き継ぐことができる」と嬉しそうでした。



祇園祭の郷土料理

祭に欠かせない料理の一つ、鯉(にしん)の山椒漬(さんしょうづけ)。鯉の山椒漬を1年を通して作る和泉屋魚店の阿久津毅一さん、靖子さんは毎日元気に鯉漬を行っています。

食べやすくするため骨や背びれなどを取り、丁寧に作っていました。お2人は「まだまだ頑張ります」と笑顔!

山椒漬はいつでも購入することが出来ます!



祇園祭当番党屋を引き継ぐ

7月24日、当番党屋が、令和2年度田島祇園祭中町上側御党屋組から上中町御党屋組へ引き継がれました。引き継ぎは中町党本、高橋稔雄さん宅で行われ、阿部保憲さんと長谷川祐樹さんが出席しました。高橋氏は「よろしくお願ひします」と『祭式格例帳』と『緒道具引渡書』を手渡しました。祭式格例帳は明治23年に増補と記され、伝統の重みを感じる物でした。御党屋常備と言う箱に納められていました。

党屋らは歴史の重みと責任を感じていました。



祭式格例帳と収納箱



器の数などを記した緒道具引渡書

チャンネル一覧

- 1 NHK総合
- 2 NHK教育
- 4 福島中央
- 5 福島放送
- 6 テレビユー福島
- 8 福島テレビ

11 水曜日午後7時より

コミュニティチャンネル

11ch 受信設定→UHF帯域
→再スキャン。ご自分で設定できない方は、お電話頂ければ、設定に伺います。

アナログCH

- 2 チャンネルネコ
- 4 スーパーチャンネル
- 6 ガオラ
- 10 コミュニティチャンネル
- 10 朝日ニュースター
- 12 ムービープラス